

コープあおもり 広報紙

2025

は ば た き

8
Vol. 330

●組合員
162,671人
(2025年6月20日現在)

●宅配利用人数
61,508人

●出資金
4,138,889千円
(一人当たり25,443円)

コープの
インターネットサービス

コープあおもりの
ホームページから
登録できます

登録
無料

ホームページ
アドレス <https://www.aomori.coop/>



今月は、浪岡物流センターからコープフードバンクの取り組みとして行っている社会福祉法人へ寄付された農産物がどのように使われているか追いかけてみました。

宅配では、注文分を配達するため、その点で廃棄は少ないのですが、それでも箱単位で入荷した商品の端数や産地からの移動中に痛みがでることがあるので、食品ロスをゼロにすることは難しいです。そのことから、青森県社協さんに協力いただいて、浪岡物流センター

に取りに来ることができる社会福祉法人へ、端数で余ってしまったものや食べられるものの宅配の商品としては利用できない野菜を提供しています。これらの野菜はコープフードバンクの取り組みが始まる前は廃棄せざるをえませんでした。提供先の社会福祉法人さんでは、利用者さんへ料理として提供されたりしています。

(写真：なんらかの理由で商品として利用できなかった野菜)

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名にご協力ください。

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声が広がっています。多くの国々に被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

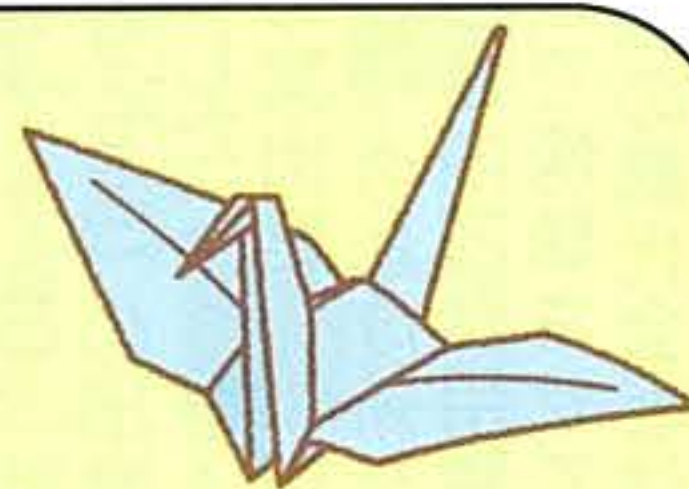
唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

お問い合わせ：コープあおもり組合員活動部 017-766-1635



▲オンラインからも署名できます。二次元バーコードでアクセスしてください。



もくじ

第33回通常総代会	2~4
広島・長崎の二重被爆について	5
ロシア/ウクライナの「農」ある風景	6
今月のテーマは…	
「終戦80年に想ひを」	8~9
トピックス	9
LDAの会からのお役立ち情報	
コープな話/Q&A拡大版	10
おたより/コープパズル/組合員の声から	11
たんやい/おめでとうのお届けを開始します	12
広島で平和学習をしました。	



COOP_AOMORI_TAKUHA!

第33回コープあおもり通常総代会を開催しました。



2025年6月11日(水)、ホテル青森(青森市)でコープあおもりの「第33回通常総代会」を開催しました。

議事では、奥崎専務理事より第1号議案から第5号議案まで議案書に基づく提案説明が行われ、特定監事の品川公志さんから、監査報告が行われました。質疑・答弁では、総代3名から6項目の発言があり、理事会より答弁が行われました(次ページに掲載)。総代定数500名に対し、496名(実出席171名、委任出席28名、書面議決297名)が出席し、2024年度事業報告・決算報告・2025年度事業計画・収支予算など、5議案すべてが賛成多数で可決・承認されました。

2025年度全体方針

5つの柱

- 1 組合員の声に応える活動を進めます。
- 2 組合員のくらしに役立つ事業を推進します。
- 3 安心してくらし続けられる地域社会づくりに貢献します。
- 4 人材の確保と職員の育成を図ります。
- 5 事業の損益改善と、健全な経営づくりを進めます。



第33回
通常総代会を終えて
理事長 菅原正

6月11日(水)、ホテル青森において第33回通常総代会が開催されました。今年も人数制限なしの開催となりました。総代定数500名に対し、総代の実出席者は171名(前年度160名)、委任状での出席28名(前年度19名)、書面での出席297名(前年度317名)、計496名(前年度496名)の出席で総代会が成立しました。2024年度と比較し総代の実出席者は11名増加しました。また、今年度新卒で入協した職員6名と内部登用職員3名も研修の一環で傍聴させていただきました。生協の総代会とは、組合員の代表である総代が集まり、生協の運営に関する重要事項を決定する会議のことです。株式会社という株主総会のような位置づけで、生協の最高意思決定機関とされています。総代会で決定する主な内容は以下のようになります。

- 事業計画・予算の決定・前年度の事業報告や決算の承認、次年度の事業計画や予算を決定します。
- 役員の選出・理事や監事など、生協を運営する役員を選出します。
- その他重要事項の決定・定款の変更やその他生協運営に関する重要事項を決定します。

今総代会には第1号議案「2024年度活動報告・事業報告承認の件」、第2号議案「2024年度決算関係書類承認の件」、第3号議案「2025年度活動方針・事業計画

及び予算決定の件」、第4号議案「役員選任の件」、第5号議案「役員報酬決定の件」の5つの議案を奥崎専務理事が提案しました。また、品川特定監事より監査報告書に沿って監査報告がされました。議案提案後、事前に発言を通告されていた総代2名と当日挙手にて発言した総代1名の意見・質問について応答後に採決が行われ、第1号から第5号までの全ての議案が賛成多数で可決・承認されました。

コープあおもりは1993年3月21日、当時の3生協(青森市民生協・弘前市民生協・八戸市民生協)が合併して誕生し、2010年3月21日には弘南生協とも合併して新生コープあおもりが誕生し今日に至ります。

今後、今総代会で確認された「2025年度全体方針5つの柱」に沿って、組合員の皆さまと職員・お取引先が事業・社会的活動を協力して共にすすめてまいります。事業においては、物価高騰や競争環境が厳しさを増していく中、組合員のくらしにより貢献することをめざして利用者を増やし、供給高は2024年度より伸長する予算としています。一方、事業経費の増加から経常剰余金は前年度より少ない予算としています。社会的活動においては、高齢者等見守り活動、コープフードバンクや子ども宅食おすそわけ便への食材・雑貨品の提供「はじめてばこ」のお届け、フードサポーターやサニタリードライブ等に引き続き取り組んでまいります。また、今年是被爆・戦後80年、そして国際協同組合年でもあります。組合員の皆さまと職員が共に、生協のこれまででの取り組みとこれから取り組むべきことを学び合える、共感しあえる場を多く作ればと思っています。

「コープあおもりの基本理念」実現のために、組合員の声を大切に、くらしに寄り添い、くらしの願いを実現できるよう、これからも頑張ってまいります。



第33回通常総代会当日の 質疑応答

総代会では、3名から6項目の発言があり、そのうち挙手の発言は1名です。また、答弁に対しての発言が1項目ありました。発言及び回答の概要は以下のとおりです。

1. Wi-Fi環境の整備について

Q コープアプリなどの学習会をしたくても青森地域はWi-Fiが使えない状況です。2023年には弘前・八戸・五所川原にWi-Fiの環境が整ったと思います。組合員活動で利用できるWi-Fiの環境をこの地域でも早く整えてほしいです。

A 今後の組合員活動に必要なもので、どのような活用の仕方がいいのかも含めて引き続き調査、検討していきます。また、Wi-Fiの環境がない地域で、いろいろなオンライン学習会の開催に不便を感じているという声がありましたので、現在無料Wi-Fiのある施設を活用してコープアプリの学習会やオンライン企画を実施している地域もあります。オンライン企画を計画しているWi-Fi環境のない地域は、地域活動担当職員にお声がけください。

2. (株)あおもりコープフーズについて

Q (株)あおもりコープフーズの現在1日あたりの食数と今年度末までの目標の食数を教えてください。

A 24年度の1日あたりの食数は約5,000食です。25年度の予算は約5,700食、1日約700食増やす計画で24年度比114.6%の伸長です。25年度予算の背景として、お弁当では、いわて生協や生協共立社(山形)が昨年途中からお弁当の納品を開始しました。また、病院・介護給食では、現在、秋田県の介護施設に新たに納品が始まり、1ヵ月約13,500食で増えています。コープあおもりの配食事業はやや苦戦していますが、(株)あおもりコープフーズの食数は伸長しています。

3. 地域会計の活動費の見直しについて

Q 普段仕事している方もいて休日に

会計の作業をしたり大変です。また、現金を扱うためとても緊張感を持って作業しています。特に弘前地域は領収書の発行枚数が500枚をゆうに超えて計上されており、会計の作業が大変ではないかと感じています。何かしら基準を設けて委員会や人数の基準で1ヵ月の会計の活動手当のところを上限をもって考えていただきたいと要望します。

A 委員会の会計について、これまでも負担が大きく、加算してほしいという声はありましたが、地域リーダー会の活動費に加算してもらえないかという声をいただいたのは今回初めてです。現段階では協議していませんが、地域の委員会数や活動件数を一例として、ルールを作ることとは容易ではないと考えています。ただし、委員会の会計の負担が大きいという声は他地域からもあり、地域リーダー会の会計についても同様に負担はありと思っています。今後、地域活動協議会などで協議して、負担感や不公平感の少ない活動の仕組みを検討していきます。ぜひ普段感じていたことやアイデアをいただけたらと思います。

4. 地域リーダー・代表・副代表の年齢制限見直しについて

Q 地域の代表・副代表に年齢制限があり、70歳を超えて1期2年のみとあります。その中で社会情勢を見ても70歳以上で元気でやる気があれば何年でも続けられるように考えていただきたいです。他地域も一緒だと思いますが弘前地域は1年たつと70歳の年齢制限で活動が立ち行かなくなる可能性があると聞いています。年齢制限の撤廃を考えていただきたいと思います。

A 年齢制限について、2022年6月から地域活動協議会で協議しており、地域リーダー会や組合員理事の意見を取り入れて、2022年10月の地域活動協議会で現在のルールが確認されています。当時の議論で、70歳の年齢制限があるのは地域の代表と副代表のみなのでその任を退いた以降は委員として活躍していただき、世代交代を進めていくことが背景にあります。世代交代を進めていくために年齢制限は現行のままがいいという声が多く、当時も出されて

いました。年齢制限をなくしてほしいという声の背景には、後任のなり手がいないこと、現状地域が抱えている課題もさまざまあると思います。そういった年齢制限を設けている他生協の実態や組合員活動の仕組みを調査しつつ、地域活動協議会で話し合いを進めていければと考えています。

5. 地域によって未設置である状況と弘前・八戸・五所川原の3地域が試験的にWi-Fi導入された経緯について

Q 弘前・八戸・五所川原の3地域で試験的にWi-Fiを導入しますという風に2年前の書類に書いていたと私は思いましたが、この3地域が選ばれた理由を教えてください。試験導入からもう2年経っていますので、早くこの地域でも使えるように設置してほしいと思います。

A 弘前・八戸・五所川原の3地域へ試験的にWi-Fiを導入したのかについて、弘前地域と八戸地域は活動人数が多く、活動の多い地域であるため試験的に導入することにしました。五所川原地域は、宅配センターや店舗と併設されておらず、オンライン検索など職員に頼ることができないため導入しました。他地域についても早急に検討させていただき、地域活動協議会などでまた報告させていただきます。

6. オンライン企画と各地域のWi-Fi環境の整備について

Q オンラインで商品交流会を開催する際は、地域でタブレットとプロジェクター1台を使用します。講習会という形で、みんなが画面を見ながら学習するにはとても有効だと思いますが、交流会になると、1台のタブレットの前に進み出て話をしないと画面に映らないし、声も入らないという状況です。そのため、タブレットを回したり、自分が移動したりという形を取らないと交流ができません。他のところから話を聞くと、外付けのカメラやマイクがあり、たくさんの人を映し、たくさんさんの声も拾えるので、コープあおもり全体としてオンラインを進めていく方向であれば

その機器を買う予算を組み、オンラインがより地域の中で広がるような対策を取っていくべきです。必要な機器は買うという姿勢でお願いします。

A オンライン企画等がコロナ禍以降増え、オンラインの工場見学やそれを通じた交流が進化しています。オンラインでの組合員活動を進める上で、今地域にあるオンラインの環境がまだ十分ではないということであれば、そこには一定のコストをかけて整備していく必要があると感じています。その辺も実態を含めて確認させていただき、必要であれば機器も周辺環境を整えるということに進めていきたいと思います。



▲コロナ禍以降、久しぶりに2024年度の組合員活動などの展示を行いました。つどいなどで作成した手芸品や工作物などの他、今年度10月4周分から変更となる新しい注文用紙の見本が展示されました。

貸借対照表

生活協同組合コープあおもり		2025年 3月20日 (単位：円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I. 流動資産		III. 流動負債	
現 金 預 金	3,494,368,238	買 掛 金	2,169,769,857
供 給 未 収 金	1,325,998,752	1年内返済予定長期借入金	60,000,000
商 品	191,148,919	短期組合員借入金	502,800,000
立 替 金	903,807	短 期 リ ー ス 債 務	6,862,637
前 払 費 用	23,975,149	未 払 金	25,049,687
未 収 金	206,713,523	未 払 法 人 税 等	114,152,746
貸 倒 引 当 金	△ 16,900,000	未 払 消 費 税 等	35,175,400
流 動 資 産 合 計	5,226,208,388	未 払 費 用	403,986,133
II. 固定資産		前 受 金	143,520,086
1. 有形固定資産		預 り 金	159,141,279
建 一 物	4,399,899,154	賞 与 引 当 金	37,989,161
減 価 償 却 累 計 額	3,023,178,839	ポ イ ン ト 引 当 金	56,026,727
構 築 物	428,839,703	流 動 負 債 合 計	3,714,473,713
減 価 償 却 累 計 額	354,147,674		
機 械 装 置	135,128,564	IV. 固定負債	
減 価 償 却 累 計 額	108,018,270	長 期 借 入 金	230,000,000
車 両 運 搬 具	11,345,000	長 期 リ ー ス	9,707,645
減 価 償 却 累 計 額	11,344,997	債 務 長 期 設 置 除 去 債 務	76,210,514
器 具 備 品	702,412,858	退 職 給 付 引 当 金	105,265,183
減 価 償 却 累 計 額	647,697,058	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	26,440,100
リ ー ス 資 産	49,924,116	預 り 保 証 金	37,528,718
減 価 償 却 累 計 額	33,484,905	長 期 未 払 金	1,258,700
土 地	1,763,233,276	固 定 負 債 合 計	486,410,860
建 設 仮 勘 定	194,174,300		
有 形 固 定 資 産 合 計	3,507,085,228	負 債 合 計	4,200,884,573
2. 無形固定資産		(純資産の部)	
借 地 権	1,825,284	V. 組合員資本	
ソ フ ト ウ ェ ア	31,496,846	1. 出資金	4,086,421,000
その他の無形固定資	8,721,956		
無 形 固 定 資 産 合 計	42,044,086	2. 剰余金	750,000,000
3. その他固定資産		法 定 準 備 金	95,903,409
関係団体等出資金	141,351,000	任 意 積 立 金	385,648,502
関係団体出資金	136,351,000	※ 当期末引当金等 (△ 16,900,000)	(285,926,001)
子会社等株式	5,000,000	剰 余 金 合 計	1,231,551,911
長期保有有価証券	1,000,000		
長 期 貸 付 金	373,360,000		
長 期 前 払 費 用	76,028,100		
差 入 保 証 金	43,412,200		
繰 延 税 金 資 産	73,168,055		
その他の固定資産	39,400,427		
貸 倒 引 当 金	△ 4,200,000		
その他固定資産合計	743,519,782	純 資 産 合 計	5,317,972,911
固 定 資 産 合 計	4,292,649,096		
資産合計	9,518,857,484	負債・純資産合計	9,518,857,484

剰余金処分手案

生活協同組合コープあおもり		2025年 3月20日 (単位：円)	
I. 当期末処分剰余金			385,648,502
II. 剰余金処分額			
1. 法定準備金	300,000,000		
2. 出資配当金	12,299,058		312,299,058
III. 次期繰越剰余金			73,349,444

1. 法定準備金について
- (1) 生協法第 51 条の4及び定款第 72 条の規定に基づいて、法定準備金を積み立てます。
- (2) 法定準備金は、出資金総額の2分の1に達するまで、当期剰余金の10分の1以上のを積み立てることが義務付けられています。
2. 出資配当金について
- (1) 出資配当金は、2023 年度における毎日の出資金 (1口 1,000 円単位)の年間平均額に出資金配当率0.3%を掛けて算出します。
- (2) 定款第 77 条の規定により、組合員ごとの出資配当金の額に1円未満の端数が生じた場合、端数は切り捨てとなります。
- (3) 出資配当金には、20.42% の源泉税 (所得税＋復興特別所得税) ががかかります。
- (4) 出資配当金から源泉税を控除した後の額は、組合員の出資金に加算されます。出資金への加算は 2024 年6月 13 日を予定しています。
- (5) 出資配当金の支払いは、2024 年3月 20 日現在の組合員で、総代会の開催日 (2024 年6月 12 日)まで組合員である方が対象となります。
3. 減損評価積立金について
- (1) 減損評価積立金は、減損会計により今後生ずる固定資産の減損損失に備えて積み立てます。
4. 次期繰越剰余金について
- (1) 次期繰越剰余金には、教育事業等繰越金 2,000 万円が含まれています。
- (2) 教育事業等繰越金は、生協法第 51 条の4及び定款第 73 条の規定により、当期剰余金の 20 分の1以上の金額を翌事業年度に繰り越すことが義務付けられています。

24年度経営報告

コープあおもり全体で、組合員数は 1,404 人増え 161,337 人で計画 (161,000 人) を上回りました。出資金は 9,443 万円増えましたが、40 億 8,642 万円で計画 (41 億円) を 1,358 万円下回りました。

供給高は、組合員 1 人あたりの利用金額が増え、185 億 9,265 万円 (23 年度比 102.7%、4 億 9,267 万円増) となり、予算 (184 億 4,900 万円) を達成しました。

店舗事業は供給高 46 億 7,412 万円と予算 (45 億 3,600 万円) を達成しました。供給高は全店前年を上回り店舗事業合計で前年比 104.0% と伸長しました。

宅配事業は供給高 122 億 5,043 万円と予算 (123 億 1,100 万円) を下回りましたが、経常剰余率は 3.27% で予算 (3.17%) を上回りました。

配食事業は利用人数が計画に届かず、供給高が3億 1,831 万円となり、予算 (3 億 5,200 万円) を下回りました。

灯油事業は、価格は高騰しましたが、記録的な大雪の影響もあり数量が増加し、供給高は 12 億 1,726 万円と予算 (11 億 6,900 万円) を達成しました。サービス事業はエアコンクリーニング、あんみつガラスの利用が増え、供給高予算を達成しました。

葬祭事業は、施行件数は計画を上回りましたが、小規模葬儀の増加などで 1 件当たりの施行金額が減少し、供給高予算は未達成となりました。

コープあおもり全体で、経常剰余金は 4 億 6,002 万円と予算 (4 億円) を 6,002 万円上回りました。24 年度当期末処分剰余金は 3 億 8,564 万円と予算 (2 億 8,862 万円) を上回りました。

損益計算書

生活協同組合コープあおもり		2025年 3月20日 (単位：円)	
勘 定 科 目	金 額		
事業損益の部			
I. 供給高			18,592,657,751
II. 供給原価			
(1) 期首商品棚卸高	189,938,894		
(2) 当期商品仕入高	13,754,374,065		
合 計	13,944,312,959		
(3) 期末商品棚卸高	191,148,919		13,753,164,040
供給剰余金			4,839,493,711
III. その他事業収入			
(1) 配達手数料収入	185,907,252		
(2) 共済受託収入	147,991,720		
(3) 不動産賃貸収入	81,315,595		
(4) その他受取手数料	34,842,044		450,056,611
事業総剰余金			5,289,550,322
IV. 事業経費			
(1) 人件費	2,427,669,998		
(2) 物件費	2,487,801,240		4,915,471,238
事業剰余金			374,079,084
事業外損益の部			
V. 事業外収益			
(1) 受取利息	1,135,100		
(2) 受取配当金	7,361,314		
(3) 雑収入	84,281,767		
(4) 貸倒引当戻入益	500,000		93,278,181
VI. 事業外費用			
(1) 支払利息	1,653,692		
(2) 雑損失	5,677,182		7,330,874
経常剰余金			460,026,391
VII. 特別利益			
(1) 補助金収入	0		0
VIII. 特別損失			
(1) 固定資産除却損	729,284		
(2) 減損損失	60,896,591		61,625,875
税引前当期剰余金			398,400,516
法人税等	114,152,746		
法人税等調整額	△ 1,678,231		112,474,515
当期剰余金			285,926,001
当期首繰越剰余金			38,625,910
減損評価積立金取崩			61,096,591
当期末処分剰余金			385,648,502

広島・長崎への原子爆弾投下、 2つの街で被爆した人がいた

ヒロシマ・ナガサキ

1945年8月6日8時15分広島市、アメリカ空軍爆撃機B-29エノラ・ゲイ号から投下されたウラニウム原子爆弾「リトルボーイ」は、原爆ドームの東南約160mの地点、上空580mで炸裂し、広島のをを一瞬のうちに破壊つくしました。

1945年8月9日11時2分長崎市、アメリカ空軍爆撃機B-29ボックス・カー号からプルトニウム原子爆弾「ファットマン」が投下され、現在の爆心地公園の地点、上空490mで炸裂し長崎のをを一瞬のうちに消し飛ばしました。

1945年の年末までに広島で約14万人、長崎で約7万人が亡くなり、終戦後も、放射線によって多くの人々が苦しめられました。

今号では、80年前に400km離れた両市で被爆した「二重被爆」について掲載いたします。

ヒバクシャ 被爆者 被曝者

核兵器や原子力災害のヒバクには、「被爆」と「被曝」があります。「被爆」は原子爆弾・水素爆弾の爆発による熱線、爆風、放射線の被害を受けたことを表し、「被曝」は強い放射線に曝（さら）され放射線被曝したことを表します。カタカナの「ヒバクシャ」は、広く核兵器の被害や原子力災害などで人体に影響が出る量の放射線を浴びるといった被害を受けた人を表す言葉です。

日本で、ヒバクシャは広島・長崎で原爆の被害にあった方という印象が強いですが、色々な国で、広島・長崎への原爆投下以降も核兵器の実験や原子力発電所での事故などに伴うヒバクシャがいます。

国内では、広島・長崎以降に原子爆弾による被害者がいます。ビキニ環礁での水素爆弾実験により被爆した第五福竜丸の乗組員も核兵器の被害者です。日本は3度核兵器の被害にあっています。また、アメリカの核兵器実験場として使用されたビキニ環礁のビキニ島には人が住んでいましたが、実験が行われる際に避難し、実験が行われなくなった現在でも避難が続いています。これは、アメリカの調査で生活に問題ないとされ一度住民は島に帰りますが、残留した放射性物質により島が汚染されていたため、このとき島へ帰っていた人が被曝してしまいました。このため再度避難を余儀なくされ、早くても島に帰れるのは2052年以降だとされています。

黒い雨・死の灰

原子爆弾が爆発した際、大量の放射性物質を含んだ塵が巻き上げられ、それらが「黒い雨」や「死の灰」として地上に降ってきます。放射能があり地上に降り注ぐこれら塵のことを放射性降下物（フォールアウト）といいます。

広島・長崎では、原爆の中にあった核物質の一部が冷やされたあと、塵が雨に付着し、粘性のある黒い雨として降りました。風があったことから、黒い雨は爆心地ではなく、広島市では西側、長崎市では東側に多く降りました。

1954年にビキニ環礁で核実験が行われた際は、その160km離れたところにいた「第五福竜丸」の船員23名が降ってきた灰（死の灰）により、被曝し1人が死亡しました。降り注いだ灰は周辺で漁獲されたマグロにも取り込まれたた

め、マグロから高い放射線量が検出されました。

また、1963年部分的核実験禁止条約が発効されるまで1950年～1963年の間に大気圏内で行われた核実験により、地球全体にこれらが拡散し、地球全体における大気中の放射性物質の濃度が上がったとされています。

原爆症

原爆の熱線、爆風、放射線による障害は総称して原爆症と呼ばれています。

爆心地からの距離や壁の有無によって異なりますが、爆発後1分以内に放射された初期放射線によって、爆心地から約1kmにいた人は、致命的な影響を受け、多くの人々が数日のうちに死亡しました。外傷なく無傷な人でも、被爆後、月日が経過してから発病し、死亡した例も多くあります。

被爆直後にでる障害を急性障害といいます。その種類は様々で、吐き気や食欲不振、下痢、頭痛、不眠、脱毛、倦怠感、吐血、血尿、血便、皮膚の出血斑点、発熱、口内炎、白血球・赤血球の減少、月経異常などがあります。

原爆症には後障害と呼ばれる後遺症のような症状があり、火傷の治ったあとが盛り上がりケロイド症状が出る。胎内で被曝した赤ちゃんは出生後も死亡率が高く、無事生まれて来ても小頭症などの症状が現れることもありました。

被爆から数年後、白血病やがん罹患する人が増加します。白血病の増加は、被爆から2年～3年後に始まり、7年～8年後にピークに達しています。がんが発生するまでの期間が長く、被爆から5年～10年ごろに増加が始まったのではないかとされています。

二重被爆

二重被爆は、8月6日広島、8月9日長崎に投下された両方の原子爆弾によって被爆したことを指しています。日本で初めて二重被爆者であると公式に認定された故山口彊（つとむ）氏（1916～2010）は、三菱造船の造船技師として、出張で訪れた広島で8月6日に爆発による熱と風で怪我をするとともに放射線被曝してしまいます。その後列車で家族のいる長崎へ8月8日につきますが、8月9日再度被爆します。戦後は通訳や教師を経て三菱造船に復職し働きますが、原爆症の症例としても報告されている症状の一つで、白血球が著しく減少しており、健康を損なっていました。

今回お話を掲載する福井さんは、広島で弟さん（故相川氏・長崎県）と被爆、親戚を頼って長崎へ行きますがそこで、弟さんもともに入市被爆します。福井さんも後障害で、被爆によって左耳が聞こえていません。

家族がいる、親戚を頼ってなど、いろいろな理由で壊滅状態の広島から長崎に移動し、再度被曝してしまう被害に遭いました。

二重被爆者は、長崎市発行の被爆者健康手帳を持つ1万8904人のうち、10人が両市で被爆したことを申告していますが、厚生労働省はこのことに関する調査していないため実際の人数は不明です。

福井さんと相川さんの 体験したこと

今回、青森県原水爆被害者団体協議会（青森被団協）の辻村さんのご協力で、広島と長崎2つの街で被爆した福井絹代さんから、弟の故相川国義さんが記した体験記と合わせて当時のお話を青森県生協連の加盟団体職員で聞かせていただきました。掲載の記事はその際のお話と体験記を元に当時の体験について記述しています。

1944年、父親の仕事の関係で広島に移住しました。後に父親は出征してしまい、離婚して、ひとり親だったことから福井さんと弟の国義さんは2人で生活していました。当時14才と12才でした。

原子爆弾が爆発したとき、2人は爆心地から1.8km離れたの広島市千田町の自宅におり、そこで被爆します。

「パリ、パリと雷鳴のような…音がしてから数秒後、晴天だったのが、急に夜のように暗くなりグワと物凄い熱風が吹き付けてきた…とうとう俺ん家に、爆弾が落ちたか…と、思う間もなく、体がぶあっと浮き上がった。必死で暗い中で、手足をバ

タつかせていたがその先は気を失って覚えていない」（体験記より）

爆発で自宅が倒壊してしまい福井さんは、家の下敷きになってしまいますが、弟さんが引っ張り出してくれたことから助かります。

避難する場所を求めて、市内を逃げ回り比治山公園に避難しますが、体験記によると、途中、服がドロドロに焼けタダれた皮膚が垂れ下がり体を折り曲げて奇声をあげる人や黒こげの赤ん坊を抱いて、放心状態で空を見ている軍人を見ます。

7日、知人が住む似島（にのしま）にわたりますが、似島には重症の被爆者が運ばれてきており、福井さんは患者の顔に湧いたウジをとる作業を相川さんは重湯を飲ませました。患者はもう目も鼻も口もわからない状態で、その日のうちに多くの人がなくなりました。

8日に、似島から広島駅へ移動します。広島市内は、瓦礫の山と怪我をしてうめく人、真っ黒に焦げた死体や白骨だらけでした。9日に広島駅から鉄道が運行していたことから故郷の長崎へ向かいます。

長崎駅到着前に原爆が投下され、2度目の被爆をします。道ノ尾駅（爆心地から約3.5km）手前で列車がとまったため、線路沿いを歩きで長崎駅に向かいます。途中、やけどや怪我をした人が歩

いてきて倒れて亡くなっていました。死体を踏み越えなくてはならず、その感触が足からはなれないと福井さんは言います。

線路沿いを祖母の家がある金屋町を目指しますが、家は焼け落ちており、大浦元町にある叔母の家に泊めてもらい、翌日母の実家がある40km先の長崎県西彼杵郡黒崎村に向かいます。

母の実家には、母も金屋町の祖母もいて、広島から来たことに驚いたそうです。

戦後、結婚し旦那さんの故郷である青森に転居します。しかし、出身が長崎だと話すと蔑むような目で「ああ、ピカドンだ」と言われることがあり悲しい思いをしたこともありました。



人と馬でびっちょりなの道路が

◀広島・長崎での体験をお話してくれた二重被爆者の福井絹代さん（右）。

困っている人を助ける・フードロスを減らす コープあおもりが取り組む・協力する 食品・生活用品寄付の取り組みについて

コープあおもりには、食品や生活用品を寄付する取り組みとして、コープ東北が実施しているフードバンクの取り組み、宅配・店舗で行っているコープあおもりフードサポートや浪岡物流センターからの農産物提供の取り組み、衛生用品を寄付するサニタリードライブの取り組みがあります。

- (1) コープ東北フードバンク
- (2) 浪岡物流センターから社会福祉法人への農産物提供
- (3) コープあおもりフードサポート
- (4) サニタリードライブ

(1) コープ東北フードバンク
青森県内では、2016年から取り組みを開始したコープあおもりが加盟するコープ東北が行う「お取引先から無償提供を受けた賞味期限が短い食品」を青森県社会福祉協議会を通じて、県内の各社協から、食料支援を必要としている団体・個人へ無償提供する取り組みです。毎年サポーターを募っています。

(2) 浪岡物流センターから社会福祉法人への農産物提供



▲寄付は直接、社会福祉法人や、「こども宅食おすそ分け便」でお渡しする食品のように配布されるなど様々な活用の仕方をしています。

2019年から開始した浪岡物流センターで発生する「コープあおもり宅配事業の必要分を除いた残りの農産品」を浪岡物流センターに取り入れることが出来る周辺の社会福祉法人15団体（2年に1回抽選）に提供する取り組み。



▲サニタリードライブで寄付された物品。

①宅配の場合
2022年に開始した寄付する商品にあたる募金を受け付け、その募金で調達した商品を寄付する取り組みです。2025年3月に、受取団体の職員が最寄りの宅配センターを訪れ、寄付品を受け取りました。

②店舗の場合
実施日に、ご家庭の未開封・未使用または、店舗でマスクや生理用品などの衛生用品を購入いただいた、それらを寄付する取り組み。地域の社会福祉協議会やワーカーズコープなどを通じて必要としている人に提供します。

(4) サニタリードライブ

2023年開始の偶数月の1日（ついたち）に、組合員が店舗で購入した商品の寄付を受け付ける取り組みです。青森県社会福祉協議会を通じて必要としている団体・個人へ無償提供されています。

① 宅配の場合

2022年に開始した寄付する商品にあたる募金を受け付け、その募金で調達した商品を寄付する取り組みです。2025年3月に、受取団体の職員が最寄りの宅配センターを訪れ、寄付品を受け取りました。

② 店舗の場合

2023年開始の偶数月の1日（ついたち）に、組合員が店舗で購入した商品の寄付を受け付ける取り組みです。青森県社会福祉協議会を通じて必要としている団体・個人へ無償提供されています。

浪岡物流センターから提供した農産物を追ってみました

今回、コープあおもりの浪岡物流センターから、青森県社会福祉協議会の協力で行っている社会福祉法人への農産物提供で提供された野菜がどのように使われているのか、社会福祉法人和幸園で実際に使っている様子を見せていただきました。

農産物提供について

浪岡物流センターでは、宅配でお届けする野菜のセット（箱詰め）を行っています。

商品の中には、例えば、箱単位の入荷で注文数と差が出て商品が余るもの。産地での点検時にはなんともなくてもセンターへの輸送中に状態が悪くなるものがあることから、産地や業者が交換用に多めにいれてくれていることから余るものがあります。

また、センターで点検したときに、宅配の商品には向かない状態のものをお届けしないよう分けています。これらの野菜・果物の中には食べられるものがありました。が、取り組みが始まる前は産業廃棄物として処分するしかありませんでした。

2019年から取り組みはじめ、浪岡物流センターに取りに来ることでできる団体を抽選で決め、現在は15団体に週に1回3団体ずつ



①浪岡物流センターで、受取に来た法人の皆さんが慣れた動きとチームワークで、カゴ車4台分あった提供品があつという間に仕分けされ、取りに来た各法人の車両に積まれます。取材時はバナナやきゅうりが多く、珍しいものと植物の苗がありました。



②「たまゆら」に運んだ後、品目ごとに重さを測って記録しています。翌日の配布時まで悪くならないよう適切な品温で保管します。



③受取りやすいように野菜・果物を並べ、今回はバナナ1房、野菜3品、果物1品を選んでもらいました。



④受取しやすいように野菜・果物を並べ、今回はバナナ1房、野菜3品、果物1品を選んでもらいました。

和幸園の取り組みについて

社会福祉法人和幸園は、青森市に8拠点を構える社会福祉法人で、介護施設、デイサービス、特養老人ホーム、保育園といった施設の運営、地域子育て支援センターや地域包括支援センターといった相談・支援など、多彩な社会的事業を行う法人です。

提供した農産物は同法人が運営するカフェ「たまゆら」の営業時間前に「農産物おすそ分け便」を行って農産物を配布しています。

「カフェたまゆら」は、カフェとして営業していますが、受け渡しをしている小田嶋さんによると、

「地域に向けたこども食堂などの取り組みに経営層の理解があり、業務として出させていたという。他の法人の方に話しても珍しい」とのことでした。小田嶋さんは他の施設の施設長で、取り組みが終ると自分の職場に戻ります。

「コープあおもりから、提供量が多いバナナが余ったときに、他の施設で、急速冷凍したものをジュースにして利用者に提供したところ、とてもよくこんでくれた。」と明円常務が教えてくれました。

「たまゆら」の2階では、青森市からの委託を受けて、主に高齢者と家族、地域で支援活動をしている方や高齢者を見守る方が、介護や福祉に関する相談窓口として無料でご利用できる「東青森地域包括支援センター」の運営を行っています。

農産物の受け渡しを行っていることを生活に困っている相談に来た方へもお知らせしています。取材前までに6回行われた受け渡しで、730kg、185世帯に農産物が配布されています。

人とのつながりを大切にしている同法人にとって、農産物の受け渡しの取り組みは、地域で困っている人とのつながりを作ることのほか、施設と地域の橋渡しになっています。

カフェ食堂「たまゆら」

10:30～15:00

(ラストオーダー 14:30)

(定休日: 毎週月曜日)

場所: 青森市浜館6丁目4-5

(青森県民生協ひまわり館の隣)



▲左から、今回、掲載に協力いただいた特別養護老人ホーム和幸園施設長代行の花田さん、和幸園常務理事の明円さん、軽費老人ホーム和幸園施設長の小田嶋さんと、コープあおもり組合員活動部の西澤さん。

農産物受け渡し場所のカフェ「たまゆら」では、営業時間中美味しいおにぎりやシェイク、ジェラートなどを販売しています。今年から、「こども食堂」(日程は和幸園HPまたはお店でご確認ください) もやっていますので、ぜひ、ご来店ください。

ムダなく使おう！

野菜には、普段捨てているけれど、調理の仕方ですぐ食べられる部分があります。食品を活用できれば、食品ロスを減らしながら、食卓にもう1皿おけるかもしれません。

キャベツの芯でつくる
おつまみメンマ

材料
キャベツの芯 1個分
鶏がらスープの素 小さじ1
ごま油 小さじ1 砂糖 小さじ1/2
しょうゆ 小さじ1/4 いり白ごま 小さじ1
ラー油 適量

- ①キャベツの芯は縦半分に切り、薄切りにする
- ②耐熱容器に切ったキャベツの芯とごま油・砂糖を入れてサッと混ぜ、ラップをかけて電子レンジ（500W）で2分30秒ほど加熱する
- ③しょうゆ・ごま・お好みでラー油を加えて混ぜ、10分ほどおく

食べられる部分が多い
ブロッコリーを使った
ポタージュ

材料（4人分）
ブロッコリー（葉、茎、軸、花蕾）100g
玉ねぎ 1/2個 ジャガイモ 1個
バター 大さじ1 水 75ml
コンソメ 1個 牛乳 300ml
塩こしょう 少々

- ①ブロッコリーの葉、茎、軸を細かく切りまです。玉ねぎは薄切り、ジャガイモは皮をむいて角切りにします
- ②厚手の鍋に、バター、具材を入れて炒め、透き通ってきたら水、コンソメを入れて10分煮ます
- ③少し冷ましてミキサーで攪拌したら、鍋に戻し牛乳を入れてひと煮立ちさせて火を止め、塩こしょうで味付けする。粗熱をとってから冷蔵庫で冷やしてもおいしい

すいかの皮と鶏肉の炒め物



材料（4人分）
すいかの皮 250g 鶏むね肉 100g
片栗粉 大さじ1 サラダ油 小さじ1/2
めんつゆ（2倍濃縮）大さじ1½ 塩 少々

- ①すいかの皮の外側の硬い緑の皮を剥き、薄切りにする（皮の薄いスイカもあるので、赤い部分があっても良い）
- ②鶏むね肉を細切りにし、片栗粉をまとわせる
- ③フライパンにサラダ油を入れて、鶏肉を炒める。色が変わってきたらスイカの皮をいれ、鶏むね肉の中心まで火が通るまで炒める
- ④めんつゆを入れて、スイカの皮がしんなりしてきたら出来上がり

コプ子さんの「農」ある風景



農産担当のコプ子さんが、産地や生産者、野菜や果物について紹介する「コプ子さんの「農」ある風景」。産直だけでなく、もっと広く「農」の世界に飛び込んでお届けします。産地の様子や生産者にスポットを当てていきます！

産地のみなさんはあったかい方ばかり！
組合員さんのことを一番に考えています。
茨城県西産直センター

まずは「茨城県西産直センター」さんは「いばらきけんせい産直センター」とお読みします。ぜひみなさんに覚えていただきたいです！Weekでは、小松菜、チンゲン菜、なす、ズッキーニ、ゴーヤ、小玉すいか、とうもろこしなど、ほぼオールシーズン野菜や果物が案内されています。すでに暑さの始まっていた5月、茨城県八千代町で生産者のみなさんにお会いして参りました！

ズッキーニ生産者の新谷さんは、何年も前からWeekに写真が掲載されている生産者の一人でニコニコ優しい方！ズッキーニやキャベツを作っています。しかしハウスの中はすでにかかなり暑く、新谷さんも私たちも汗が噴き出していました。この温度の中で作業をする苦労を改めて感じました。次に訪れたのが、小玉すいか生産者の堤さんのハウス。堤さんもととても楽しくて温かい方です。なんと、すいかを狙ってアライグマが出るそうで、とても心配していました。しかし「万が一自分に何かあっても家族が収穫できるように」と一つ一つのすいかに、収穫目安がわかるように色分けのテープを貼り、大事に大事に管理していました。

どの生産者さんも、組合員の皆さんに無事に商品を届けることをまず第一に日々作業しており、コプ子さんはそのような生産者の姿を組合員の皆さんに伝えたいと常々思っています。少しでも多くの組合員の皆さんが生産者の姿を思い浮かべ「食べて応援」して下さることを祈り、コプ子さんは次の産地へ向かうのです！！



▲すいかを育てる堤さん。
長年コープあおもりに出荷してくださっています。「持って帰って食べさせたかった！」とおっしゃってください、とてもありがたく思いました。（自分で注文して食べました！おいしかったです！）



◀ズッキーニの収穫が始まっていた新谷さんのハウス。ツルツルむちむちの立派なズッキーニ、本当に美味しかった！新谷さんのズッキーニがきっかけでズッキーニをととても好きになったコプ子さんです。



◀こちらは担当の茨城県西産直センター渡部さん。心から優しい笑顔の素敵な渡部さん。経験不足のコプ子さんが安心して心を開ける、ありがたい存在なのです。これからもどうぞよろしくお願いいたします



◀茨城県西産直センターの職員の方が、なんとお昼ご飯を作ってくださいました。とても感動でした。本当においしくて、一生忘れない味です。

今月のテーマは：「終戦80年に想い」

平和希求の私たちの思いとは裏腹に、世界は逆行していて不安を覚えます。人間の賢さはどこに行っても自分のできることしかありません。近に自分のできることしかありません。かと思ひながら、実行していきたく思います。

七戸町 R・Aさん

日本での戦争が終って80年も経つんですね。毎年、戦争の話を聞く度にこの先もずっと戦争が起きないようにと願うばかりです。世界ではまだ戦争が起きています。命を奪い、辛い毎日を送っている戦地のニュースを見ると胸が痛みます。日本は唯一の被爆国であり、大切な命がたくさん奪われた地。私も母も戦争を実際に経験しています。でも母も戦争が終った後、平和を祈っていました。絶対忘れてはいけなと思います。

八戸市 Y・Kさん

となりに住んでいる90代後半のおじいちゃん、物腰のやさしい他のおじいちゃん達と何ら変わらない方です。只ひとつ違うのは、「満州の戦地にて受けた鉄砲の玉が、未だ体の中に入っている」という事です。今年『終戦80年』ですが、おじいちゃんにとっては、戦中なのかもしれません。

八戸市 N・Kさん

戦争のない時代に生まれた私は幸せですね。あつてはならない世の中でありたいものです。こう言う事もあつたんだ！とわすれてはならないですよ。

佐井村 チューザブロウさん

八戸空襲のことを初めて知りました。「たんざく」にあった慰霊碑に行ってみたく思います。三沢、八戸にも自衛隊基地があり、隊員の皆さんが日頃頑張っていることを思う時、いつまでも平和が守られるように祈ります。

三沢市の組合員さん

終戦が80年になったということですが、まだまだ世界のあちこちで戦争がおきてます。どうして人は仲良くなれないのでしょうか。欲のありすぎ、人のいいものを自分のものにみならうことができず、うばうことだけ。どうしてこのような人間が多くなっているのでしょうか。

むつ市 E・Mさん

毎年繰返し終戦を語りますが、世界は逆の方向に向っています。ペリリュー島で遺骨を収めているニュースが先日ありました。どうして人間は戦争をなくせないのでしょうか。ピースアクションの玉木利枝子さんの凛としたお姿に伝えなくてはの姿勢が強くあらわれています。

新郷村 N・Sさん

ウクライナをはじめ、世界各地での戦争や紛争のニュースを毎日目にします。その度に、1日でも早く終結するように！と思います。戦争の時代に逆戻りしたくはありません。世界中が平和になり、1人1人が安心安全に過ごせるようになってほしいです。

八戸市 W・Sさん

激戦地ペリリュー島

N・Sさんの投稿にあるペリリュー島は、日本から約3000km離れたフィリピンの東側にあるパラオ共和国に属する島です。

ペリリュー島のあるパラオは、16世紀にスペイン帝国の植民地になった後、19世紀末にドイツ帝国に売却され、1919年に終結した第一次世界大戦後、戦後処理として行われたパリ講和会議でドイツ帝国の植民地から大日本帝国の委任統治領（実質的な植民地）になります。

日本統治以降、電気や水道、学校や病院、道路や公的施設など社会的基盤の整備、貨幣経済への移行といった取り組みがなされ近代化が進みます。

ペリリュー島の戦いは、太平洋戦争勃発後の1944年9月15日～11月27日に日本軍守備隊とアメリカ軍の陸上での戦闘です。

アメリカ軍は4日での終結を予想していましたが、2ヶ月以上の持久戦となり、日本軍の戦死者が約1万6000名、アメリカ軍も約1万6000名、3000名また、アメリカ軍では病死した軍人が数千名（5,000～10,000名以上）と様々な説がある」という悲惨な戦いでした。悲惨な戦いは硫黄島の戦いに続いていきます。

民間人は事前に避難させていたことから、民間人の死者はいませんでした。

現在も慰霊祭が行われる他、ペリリュー島では遺骨の収集などが行われています。

とにかく平和を願います。

八戸市の組合員さん

はばたき6月号のたんざくの記事を読み、初めて八戸空襲のことを知りました。私の父は、終戦の翌年に生まれていて、終戦は40代の私にとっては、父の年齢を思い浮かべます。

私が生まれた日は、戦時中は長崎の原爆があった日なので、毎年ニュースで式典の様子を見ると、戦争や原爆は二度と起きてはいけなと思います。実際は、戦時中の生活や空襲などの被害について、知らない事だらけです。時が過ぎ、平和で生活が豊かになった現在ですが、戦争があり、多くの犠牲者が出たこと、多くの被害があつたことなど当時の状況を多く世代の人々が知り、語り継いで教訓とし、今も戦争をしている国々がありますが、戦争や核爆弾のない平和な世界が続いてほしいと願います。

青森市 S・Nさん

80年て長いのか？短いのか？私は現在61才。80才位で人生の終わりを迎えるとするなら残りあと20年位：あつという間に感じる。そう考えると80年は短い気がする。でも、想い出を振り返ってみると色々な出来事が沢山詰まっています。60年でも長いと感じたりもする。人生の大半を戦争体験をせずに生きてこれたのは、戦争を体験した方々の忍耐と努力によつて賜ったものなのだと感謝しなくてははいけないと思う。さて、

平和な80年を享受させてもらえた私達は、次の世代の為に何をすべきだろうか？これから何をすべきだろうか？一度考え直してみたいと思います。戦争を起させない為に、やはり政治に関心を持つ事が大事だと思っています。

五戸町 H・Kさん

私の長兄は赤紙で召集されました。出征する時乳児の私（1942年「昭和17年」生まれ）を抱いて「ケンが小学校に上がる頃には帰ってくるからな」と言ったそうです。沖縄で玉砕です。武器が無く、竹やりで敵の機関銃に向かったのでしょうか。2012年に妻と沖縄へ行きました。糸満市にある石碑「平和の礎（いしじ）」へ。平和の礎、沖縄戦などで亡くなったすべての人を追悼し、悲惨な戦争の教訓を後世に正しく伝えて行くために建設されました。左右に見える刻銘碑には、戦没者の名前が彫られています。戦争はあつてはなりません。

つがる市 K・Eさん

お世話になっております。この度の特集のテーマを見て、3歳から4歳にかけて遭遇した戦中戦後の臆気ながら悲しく辛い体験の一部を紹介したく、慣れない文をしたためてみました。めったに使わないパソコンもまた、めちやくちやで申し訳なく恥ずかしいところです。ご査収下さい。

○命の岐路を知った

1945年8月、父は満州で終戦を迎え、よろよろと帰還した。爆発する歓喜に包まれた母の姿が、4歳の記憶に焼き付いている。23年後、結婚した自分の父が戦死したことも知った。私の父も家族も、みんながたえようもない混沌とした中で過ごした時代がその後にも続いている。二人の父、決して忘れることのないあなた方を、今日も節目に讃えずにはおられないのです。

青森市の組合員さん

Q & A 拡大版



匿名で掲載しています。

最近の物価の変動には驚かされます。食品は大変です。中身の量は少なくなるし値段も高くなるし。一回の買物で前より半分位しか買えません。

八戸市 S・Nさん

先日、青森市の病院に入院している夫との面会に千葉から一泊で息子が来てくれ、久しぶりの再会で嬉しかったです。誰でもですが一緒に暮らした年月より離れて暮らす年月の方が長くなり少し淋しいですね。今は一人暮らしですが、それでも近所の友達と女子会など開いておしゃべりをしたりして楽しんで、呆けない様、頑張っています。

深浦町 T・Nさん

断捨離しようと物の整理を始めたものの手に取る愛着を感じ、処分の決心がつかずままに。結局は保留のままになるという繰返しです。いつになったら部屋がすっきりするのでしょうか。

黒石市 H・Sさん

山登りを趣味としていますが、熊が怖くてまだ登りに行っておりません。熊の生態も変わって、熊も大変なのだと思います。人間の都合だけで熊が殺処分されるのもかわいそうです。温暖化の影響で今までの生活がどんどん変わっていくことを感じています。子供たちが大きくなった時、地球はどうなっているのだろうか、未来のために何ができるのか、考えながら生活したいと思っています。

三沢市 M・Sさん

新入社員さんの笑顔の写真がいいです！真面目な表情もいいですが、やはり笑顔は見ると嬉しく感じます。昔、アメリカ国籍の友人のパスポートの写真が笑顔だったのを思い出します。(記憶誤りでなければ)私はいいな、と思います。運転免許更新の時に笑って写真を撮ってもらおうとしたら「歯を出すな」と指示されました。今年も免許更新ですが、歯を出さなくても、ちょっと笑顔で写れるかトライしてみようと思います。笑顔を浮かべて元気をだしましょう！

弘前市 Y・Sさん

じわじわと暑さが増してくるこの頃、熱中症にならないように水分をとり夏ののりきろうと思っています。

平川市 K・Oさん

宅配日いつもの時間に届いたのはチラシだけ。「え、今週は商品はないです。珍しいですね」「えー」注文するを押したつもりが、気をつけよう。不慣れたネット！

八戸市 Y・Cさん

先日保育園に通っている孫の運動会を観に行ってきました。去年は泣いて親から離れた途から一人で走る姿が来て成長を感じました。

七戸町 M・Uさん

「わくわく便」を毎回気を付けて注文していますが、時々送れない商品があり、連絡が来ます。何か分かるように、チラシに「わくわく便不可」の表示をしていただく事は可能でしょうか？

八戸センターの組合員さん

先日、西目屋の水陸両用バスを体験してきました。レッツスプラッシュのかけ声でドボン、バシャーンと入水。当日はお天気が良く、水しぶきで最高に気分が上がりました。また、いずれ朽ちて姿を消す水没林の景色が美しく印象的で、大満足の体験でした。

五所川原市 E・Iさん

今年古希を迎えます。学生時代は運動部だったしママさんバトミントンもやったから運動神経は良い方だと信じていた。が、この度身体を動かす機会があり出るはずと思う動きに身体がついていけな。情けなく自分の年齢が恨めしい！しっかりと受け止めて前向きに頑張る事にしよう！

八戸市の組合員さん

今年も暑くなってきました。体調管理が上手くできるか不安です。食べて寝てすごすかな？

平川市 F・Sさん

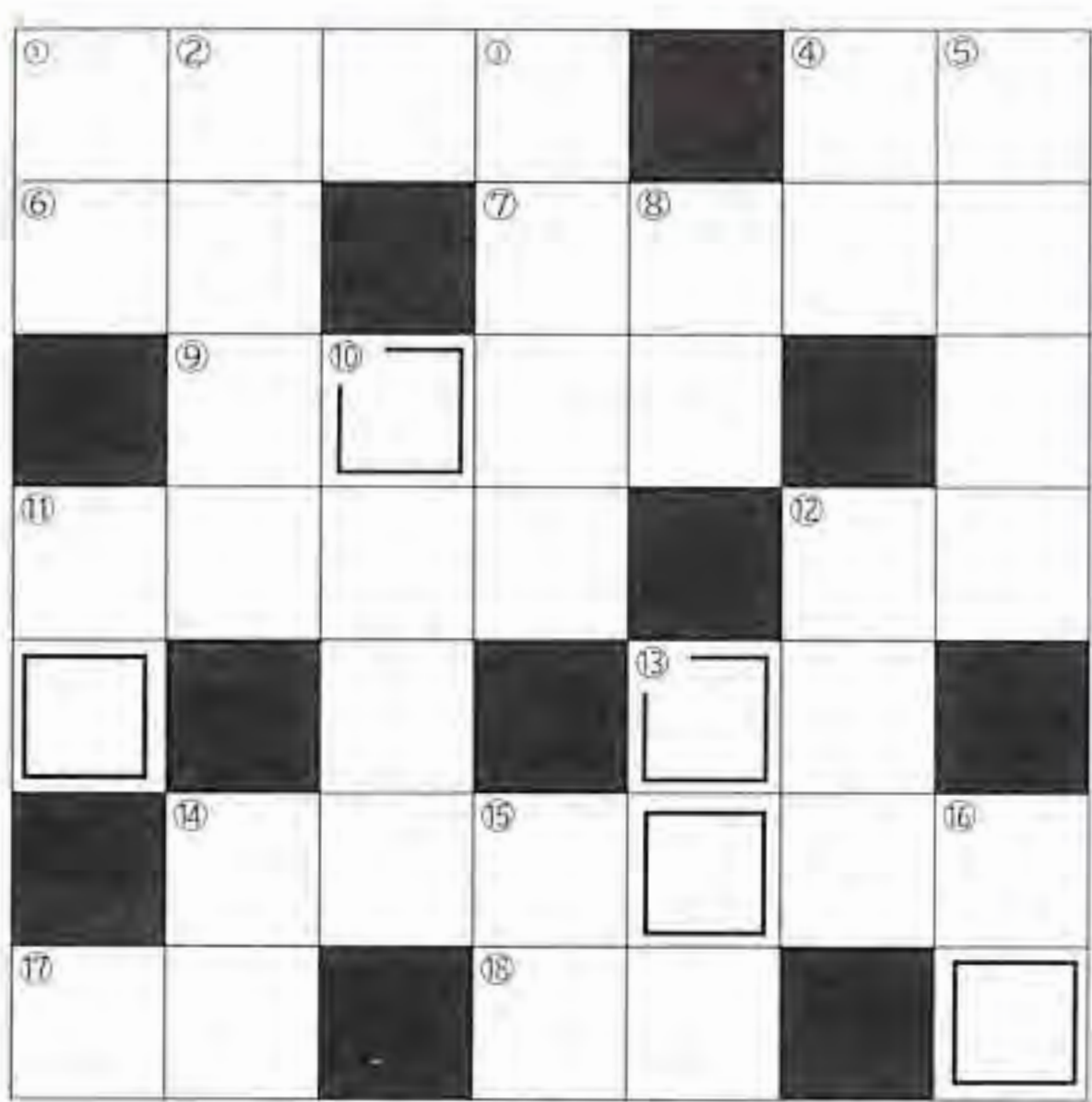


「組合員さんの声」から

〈要旨を抜粋して掲載しています〉

は、物流上の関係から「わくわく便」ではお届けできない商品とさせていただきます。また、ご注文時点では、お届けが不透明な抽選商品・数量限定商品などにつきましてはお届けできない商品とさせていただきます。更にその他の事情でも「わくわく便」ではお届けできない商品も多数あるため、ご指摘のとおりの紙面上で「わくわく便不可」が分かるようにご案内できれば、ご利用しやすくなるものと存じます。

難しいというのが現状です。せつかくのご要望にお応えできず申し訳ございません。なお、スマートフォンなどをお持ちの方に限られてしまいがちですが、生協の宅配注文サイトでの「わくわく便」注文画面につきましては、申込番号部分に「対象外」と表示されるため、一目でわかり、また注文自体もできない仕様となっております。宅配注文サイトへの登録は無料となっており、この機会にご登録を検討していただければ幸いです。コープ東北商品本部



すの表通りではないの道 ⑨津軽半島と下北半島に囲まれた湾 ⑩不運なこと ⑪振ると音が鳴る金属や陶器でできたもの ⑫物事が存在しないことを指す形容詞 ⑬力二や力フトムシなど骨格が身体の外側にあること ⑭天然のままであること ⑮人の顔をうかがい、気に入るようにつるまつこと ⑯〇〇を売る

ウ	マ	エ	ゴ	テ	ン
ナ	ワ	ト	ビ	ホ	ト
ギ	リ	セ	メ	ン	ト
ミ	ジ	ン	コ	ザ	ン
ビ	チ	ク	ボ	キ	ン
ガ	ア	カ	シ	ア	ン
ク	ツ	シ	ン	ツ	ノ

【7月号の正解】
正解は「あまのがわ」。

【6月号の正解】
応募は278通（ハガキ121通、メール・フォーム157通。正解者は276名でした。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

【問題と解き方】

の文字を並べ替えるところ5文字の言葉が出来ます。

タテのカギ

①青色の染料として用いられる植物 ②神前挙式で花嫁が着用する婚礼衣装 ③防波堤などで波を防ぎ、安全にした場所 ④お盆はここから先祖さまが帰ってきます

「〇〇の国」⑤庭などに暑さを和らげるため水を撒くこと ⑥観賞用に栽培される植物「コチョウウ〇〇」や「カトレア」などの種類がある ⑩たま

①金木町にある、藤枝ため池は「〇〇〇〇」と呼ばれています。④陰の逆光を赤・黄・青など様々な〇〇として感じま

タテのカギ

①金木町にある、藤枝ため池は「〇〇〇〇」と呼ばれています。④陰の逆光を赤・黄・青など様々な〇〇として感じま

【応募の方法】

ハガキ又はメールに、答え住所・氏名(ふみ仮名)・組合員番号(班に所属している場合、班名を記入の上ご応募ください。正解者の中から30名の方に五百円の図書カードを差し上げます。ご応募の際、余白にはお便り、紙面へのご感想、ご意見その他なんでも結構です。ご記入いただければ幸いです。お便り等は紙面に掲載させていただきます。下部「次ページ」が読み取りできない場合はお手数ですがメールアドレスを直接ご入力ください。

【6月号の正解】

応募は278通（ハガキ121通、メール・フォーム157通。正解者は276名でした。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

WEBからはこちら



たんやん

青森の戦跡・慰霊碑を巡る③

東北最大の被害が出た「青森大空襲」

1945年7月28日夜、青森市をアメリカ空軍のB29が空爆しました。罹災家屋16,000戸、罹災者約80,000名、死者1,018名、負傷者255名（報告資料・報告時点により数の変動あり）。空襲により青森市の中心部はコンクリートや土蔵など火災に強い建物は残りましたが、木造の建物が多くそのことがよく空襲で焼け落ちました。

青森空襲の被害規模は東北最大と言われ、人的被害が拡大した要因がいくつかあります。①7月14日、15日の空襲（連絡船への空襲、7月号掲載）以降、青森市内から疎開・避難する人が増えていました。そのことを受け7月21日に青森市役所が「逃避者は28日までに復帰しなければ配給を停止する」と布告し、疎開・避難した市民は戻らざるをえなかった。②空襲の前日にアメリカ軍が予告のビラをまきました。③憲兵隊や警察が回収し読むことを禁止したため、空襲が知られることはありませんでした。④新型の焼夷弾が83,000本投下され、木造の家屋が次々に燃え、消火も防空訓練も防空壕も意味をなさず、防空壕内での死者が多かった。といったことがあります。

青森市内には、昨年11月号で紹介した戦跡もありますが、青森市中央市民センター内に「青森空襲資料常設展示室」があります。青森県内では貴重な戦争時のことを知ることができる施設です。青森空襲のことや戦争被害、GHQの占領後の様子などが知ることができます。



原爆投下・戦後80年

広島で平和について学んできました



▲似島でガイドさんの説明を受ける参加者

25年度新規学卒採用者と内部登用者10名が、5月14日～16日に平和学習として、広島県で原爆について学習や戦跡を巡りました。原爆ドームや平和祈念公園の他、原爆投下後、約1万人の被爆者が運ばれた似島（いのしま）を訪れました。

5月26日に、報告会がコープあおもり本部で実施され、3日間の行程を分担してグループで、広島県で学んできたことについて発表しました。発表後、広島の研修で現地をみて思ったことなどを一人ひとり報告しました。

今回は、青森センターの組合員担当奥崎さんが研修を通して「生協職員として“平和”について継続できることは何か」について考えたことを紹介します。

3日間の研修をさせて頂き、壮絶な状況が現実にあったと見て聞いて体感することができました。今年で終戦80年目、被爆者の平均年齢も86才となり人数も少なくなり、戦争の跡も開発により保存されていない物もありました。町は見事に復興を遂げ穏やかではありますが、日本にもこれからの平和のためにも今後も紛争で世界に難民が1億1730万人もいる事の現状を知り政治に関心をもち、SDGsの目標の1つにも平和が盛り込まれていて他者を差別せず対話をしていく事の大切さを今回の研修で気付かせられるきっかけになりました。 青森センター 組合員担当 奥崎祐也

2025年度

はじめてばこのお届けを開始します。



7月1日(火)、十和田センターで、コープあおもりが協賛するRABアップル・バース・キャンペーン「はじめてばこ」の出発式を行いました。出発式ではセンターの職員が2025年度最初の「はじめてばこ」お届けに向かう職員を見送りました。



〔応募対象・応募期間〕

2026年4月1日までに生まれた、青森県内の住所に住民登録された赤ちゃんが対象です。
 ※誕生日から6か月以内にお申し込みください。
 ※期限を過ぎて応募いただいた場合はご対応出来かねますのでご了承ください。
 ※期間外の方は申し込みできませんのでご了承ください。
 ※申し込みは対象のお子様の保護者の方に限ります。



▲「はじめてばこ」のお申込みはこちらから

RAB 放送 Apple Birth Campaign 特設サイト
<https://www.rab.co.jp/event/apple-birth-campaign/>